

8 - 6 西日本各地の地殻変動連続観測結果(1999年1月～2004年4月)

近畿・日向灘地殻活動総合観測線，山崎断層

Continuous Observations of Crustal Deformations at Observation Networks in Southwest Japan. (January, 1999- April, 2004)

京都大学防災研究所地震予知研究センター

Research Center for Earthquake Prediction,

Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University.

京都大学防災研究所地震予知研究センターが西日本に展開している坑道内での地殻変動連続観測点のデータを1999年から現在まで5年強の期間について報告する。これまでは総合観測線記録として1年間を単位として報告してきたが、別稿¹⁾の「近畿北部の最近の地殻活動」と関連させて見ていただくために、同稿の図と期間を合わせた。山陰・近畿・北陸地殻活動総合観測線から5点、日向灘地殻活動総合観測線から7点、さらに山崎断層上の安富観測室の計13点のデータを報告する。

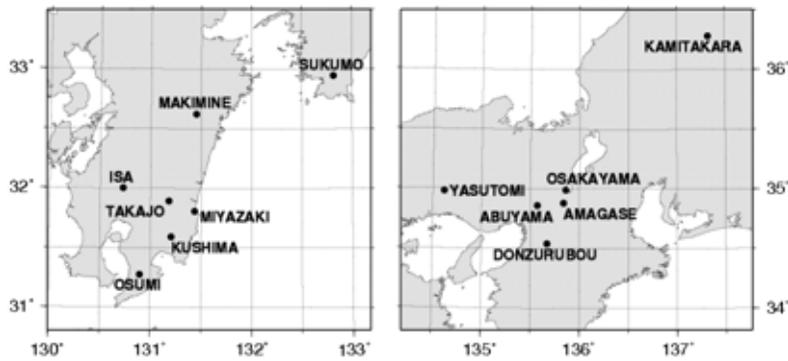
各観測点のグラフは伸縮計および雨量を中心として、一部に水管または気泡式傾斜計、地下水位記録を含む。E表記または方位のみの表示が伸縮計、E Cは伸縮計の中間センサー、Wは水管傾斜計、Bは気泡式傾斜計、各グラフ最下段の棒グラフは日雨量である。安富観測室では1箇所に固定した2本の基準尺に多くのセンサーを分布させているので、断層破碎帯の位置とセンサー配置の図を挿入した。

顕著な年周変化を示す安富、宿毛、串間、大隅などは坑道が浅いために外気温の影響を受けており、他の点でも降雨の影響を受けるところが多い。近畿地方では1999年と2003年の夏季の雨量が平年値より多かったが、九州ではほぼ平年値で推移している。長期的には単調な経年変化を示す地点が多いが、詳細に見れば必ずしも一様な変動ではない。前報²⁾では近畿中央部の天ヶ瀬、阿武山、屯鶴峯の各観測所で2003年から北-北東方向の歪にこれまでの経年変化と異なる傾向が始まったことを指摘したが、上記別稿で逢坂山の水位と合わせ2003年2月末からの変動として詳しく述べる。宮崎観測所ではいくつかの成分で、1996年に連続して発生した2個のM6級地震をはさんでその1年ばかり前より歪レートが大きくなっていったが、2001年から2002年にかけて1995年までのレートに戻った。

(大谷文夫・寺石眞弘・渡辺邦彦)

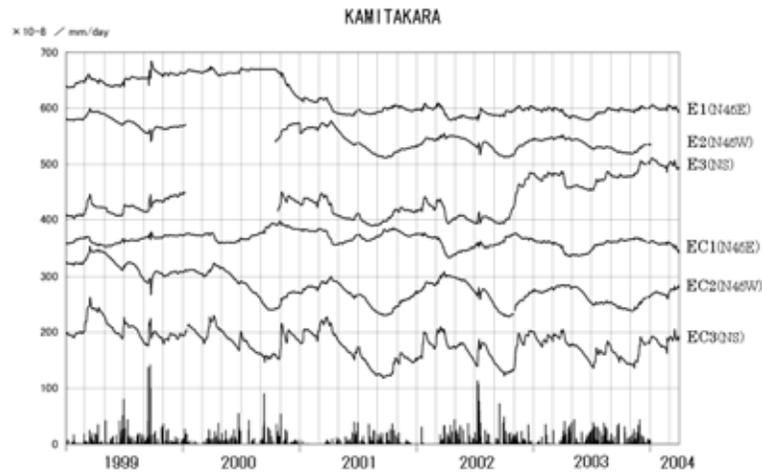
参考文献

- 1) 京都大学防災研究所地震予知研究センター，地殻変動連続観測記録に見られる最近約1年間の歪レートの変化と水位変化，連絡会報(72)，528-529。
- 2) 京都大学防災研究所地震予知研究センター，北陸-近畿および近畿-山陰地殻活動総合観測線における地殻変動連続観測結果(2002年11月～2003年10月)，連絡会報(71)，646-648。



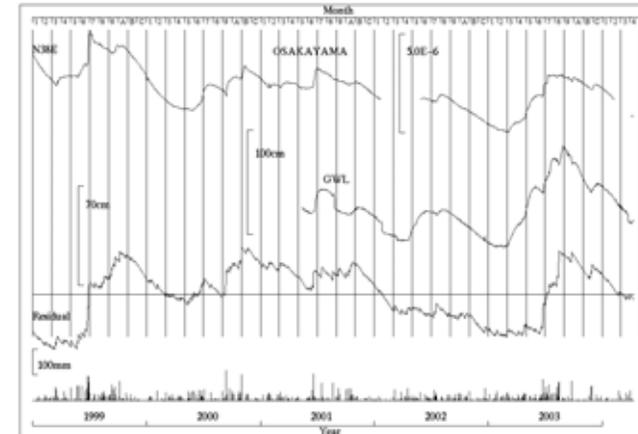
第 1 図 観測点位置図 .

Fig.1 Location maps of observation stations.



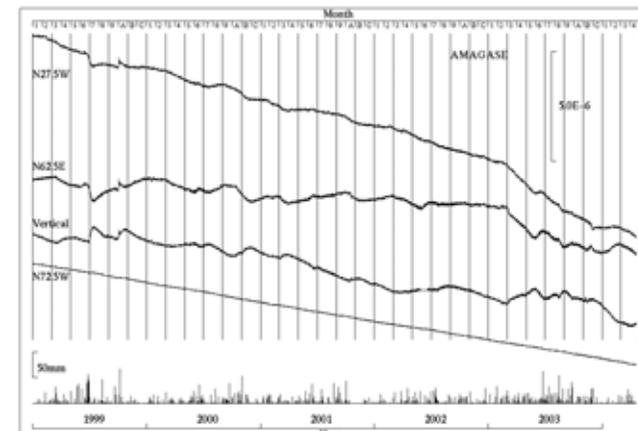
第 2 図 上宝観測所（蔵柱観測室）における歪変化と日雨量(1999年1月～2004年4月) .

Fig.2 Strain changes and daily precipitation at Kurabashira station of Kamitakara observatory. (January, 1999 - April, 2004)



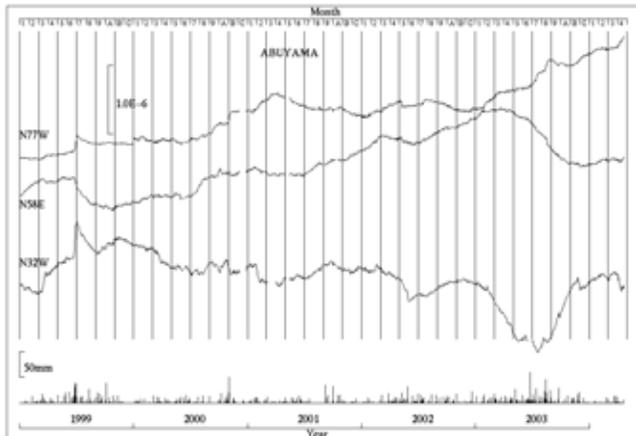
第 3 図 逢坂山観測所における歪変化，地下水位(GWL)，積算雨量から平均雨量積算値を差し引いた値，日雨量(1999年1月～2004年4月) .

Fig.3 Strain change, groundwater level change and daily precipitation at Osakayama observatory. The Lowest line graph describes deviation of accumulated rainfall from the mean precipitation accumulation. (January, 1999 - April, 2004)



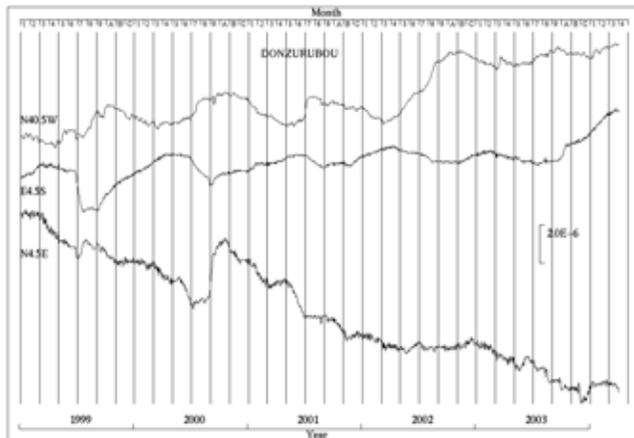
第 4 図 天ヶ瀬観測室における歪変化と日雨量(1999年1月～2004年4月) .

Fig.4 Strain changes and daily precipitation at Amagase observatory. (January, 1999 - April, 2004)



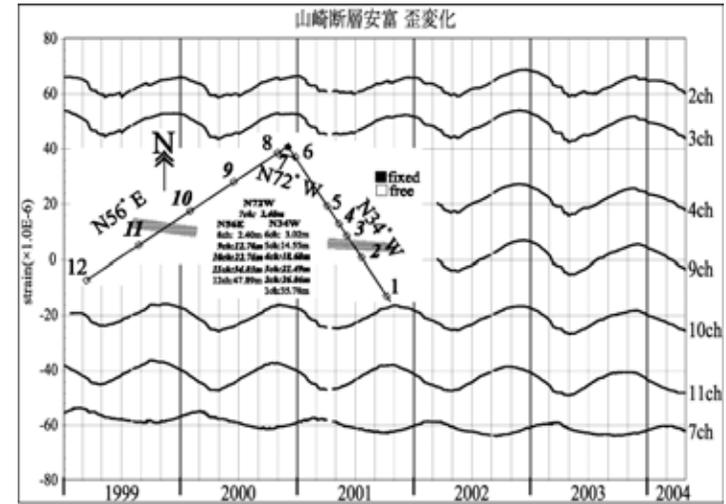
第 5 図 阿武山観測所における歪変化と日雨量(1999 年 1 月 ~ 2004 年 4 月) .

Fig.5 Strain changes and daily precipitation at Abuyama observatory. (January, 1999 - April, 2004)



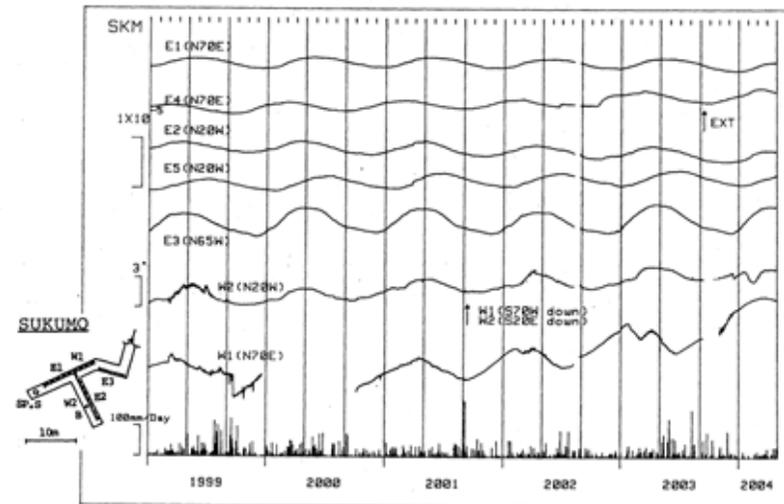
第 6 図 屯鶴峯観測所における歪変化 (1999 年 1 月 ~ 2004 年 4 月) .

Fig.6 Strain changes and daily precipitation at Donzurubou observatory. (January, 1999 - April, 2004)



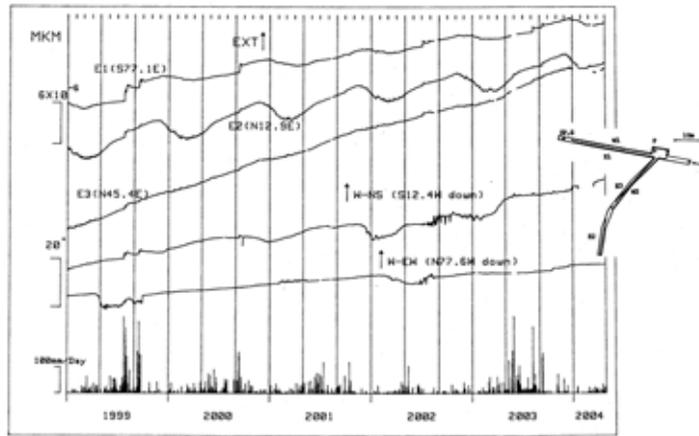
第 7 図 安富観測室における歪変化 (1999 年 1 月 ~ 2004 年 4 月) .

Fig.7 Strain changes at Yasutomi observatory crossing Yamazaki fault. (January, 1999 - April, 2004)



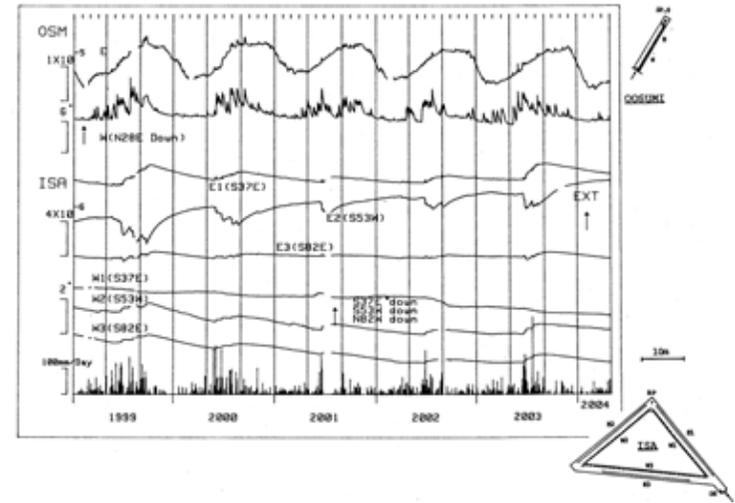
第 8 図 宿毛観測室における歪・傾斜変化と日雨量(1999 年 1 月 ~ 2004 年 4 月) .

Fig.8 Strain changes, tilt changes and daily precipitation at Sukumo observatory. (January, 1999 - April, 2004)



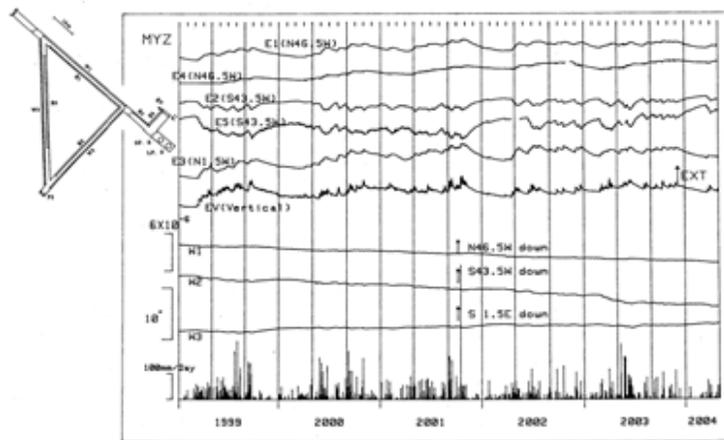
第9図 槇峰観測室における歪・傾斜変化と日雨量(1999年1月～2004年4月)。

Fig.9 Strain changes, tilt changes and daily precipitation at Makimine observatory. (January, 1999 - April, 2004)



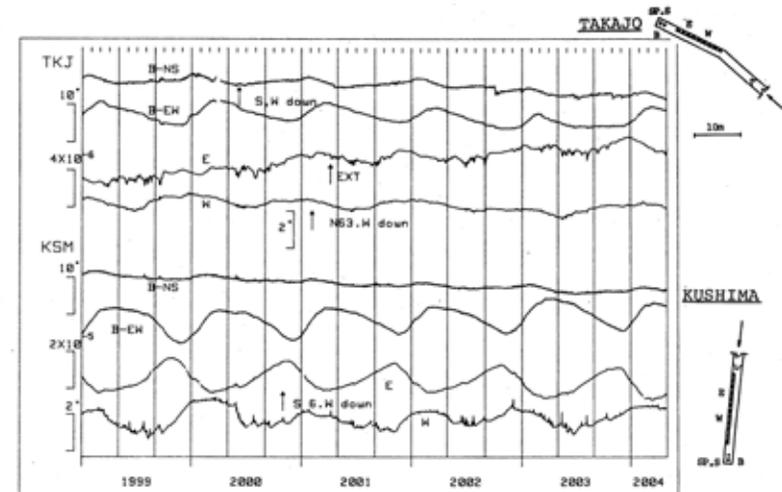
第11図 伊佐・大隈各観測室における歪・傾斜変化と伊佐の日雨量(1999年1月～2004年4月)。

Fig.11 Strain changes and tilt changes at Isa and Osumi observatory and daily precipitation at Isa observatory. (January, 1999 - April,



第10図 宮崎観測室における歪・傾斜変化と日雨量(1999年1月～2004年4月)。

Fig.10 Strain changes, tilt changes and daily precipitation at Miyazaki observatory. (January, 1999 - April, 2004)



第12図 高城・串間各観測室における歪・傾斜変化(1999年1月～2004年4月)。

Fig.12 Strain changes and tilt changes at Takajo and Kushima observatory. (January, 1999 - April, 2004)